

芸 術

(書道Ⅱ)

発 番 号	行 名	者 略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
2	東京書籍	東書	書Ⅱ 701	A 4	118	令和4年
6	教育図書	教図	書Ⅱ 702	A 4	134	
17	教育出版	教出	書Ⅱ 703	A 4	110	
38	光村図書出版	光村	書Ⅱ 704	A 4	104	

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

書道Ⅱ		冊数	4冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書701 教図702 教出703 光村704		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【芸術の目標】

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【書道Ⅱの目標】

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

【書道Ⅱの内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>A 表現</p> <p>表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <p>漢字仮名交じりの書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて構想し工夫すること。</p> <p>(ア) 目的や用途、表現形式に応じた全体の構成</p> <p>(イ) 感興や意図に応じた個性的な表現</p> <p>(ウ) 現代に生きる創造的な表現</p> <p>イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。</p> <p>(ア) 漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素</p> <p>(イ) 名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わり</p> <p>ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 目的や用途、意図に応じた効果的な表現</p> <p>(イ) 漢字と仮名の調和等による全体の構成</p>	<p>(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、相互の関連を図るものとする。</p> <p>(2) 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮し、内容の「A表現」については(1)を扱うとともに、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。</p> <p>(3) 内容の「A表現」の(1)については漢字は楷書、行書、草書及び隸書、仮名は平仮名及び片仮名、(2)については楷書、行書、草書、隸書及び篆書、(3)については平仮名、片仮名及び変体仮名を扱うものとする。</p> <p>(4) 内容の「A表現」の指導については、篆刻を扱うものとし、生徒の特性等を考慮し、刻字等を加えることもできる。</p> <p>(5) 内容の「B鑑賞」の指導については、各事項において育成を目指す資質・能力の定着を図られるよう、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。</p> <p>(6) 内容の取扱いに当たっては、「書道Ⅰ」の3の(2)、(4)、(5)及び(9)から(11)までと同様に取り扱うものとする。</p>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>(2) 漢字の書 漢字の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について構想し工夫すること。</p> <p>(ア) 表現形式に応じた全体の構成 (イ) 感興や意図に応じた個性的な表現</p> <p>イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。</p> <p>(ア) 漢字の書を構成する様々な要素 (イ) 古典の特徴と用筆・運筆との関わり</p> <p>ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 古典に基づく効果的な表現 (イ) 変化や調和等による全体の構成</p> <p>(3) 仮名の書 仮名の書に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について構想し工夫すること。</p> <p>(ア) 表現形式に応じた全体の構成 (イ) 感興や意図に応じた個性的な表現</p> <p>イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。</p> <p>(ア) 仮名の書を構成する様々な要素 (イ) 古典の特徴と用筆・運筆との関わり</p> <p>ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 古典に基づく効果的な表現 (イ) 墨継ぎや散らし書き等による全体の構成</p> <p>B 鑑賞 鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 鑑賞 鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)について考え、書よさや美しさを味わって深く捉えること。</p> <p>(ア) 作品の価値とその根拠 (イ) 生活や社会における書の美の効用と現代的意義</p> <p>イ 次の(ア)から(エ)までについて理解を深めること。</p> <p>(ア) 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり (イ) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 (ウ) 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書の特徴とその歴史</p>	<p>【参考】「書道I」の3の(2)、(4)、(5)及び(9)から(11)まで</p> <p>(2) 内容の「A表現」の(1)、(2)及び(3)の指導については、それぞれア、イ及びウの各事項を、「B鑑賞」の(1)の指導については、ア及びイの各事項を適切に関連させて指導する。</p> <p>(4) 内容の「A表現」の(2)及び(3)については、臨書及び創作を通して指導するものとする。</p> <p>(5) 内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、十分な指導が行われるよう工夫する。</p> <p>(9) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお、内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、作品について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。</p> <p>(10) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、書道の諸活動を通して、生徒が文字や書と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する。</p> <p>(11) 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、書に関する知的財産権について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、書の伝統と文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。</p>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(エ) 書の美と時代、風土、筆者などとの関わり [共通事項] 表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解すること。 イ 書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解すること。	

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠(目標等との関連)
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)	学習指導要領第2章第7節第3款1(1)
b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	学習指導要領第2章第7節第2款11 3(6)
その他の項目(各教科共通)	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項(各教科共通)

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
- b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導
 - ・ 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導についてどのように扱っているかを見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
 - ・ 学習指導要領の第3款の中で「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて」と言及されているので、書道Ⅱでは、各単元(各文章)における「表現」「鑑賞」の指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導
 - ・ 学習指導要領では、「内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるよう指導

を工夫する」こととされている。このことから、芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	芸術
科目名	書道Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	東書
教科書番号	書Ⅱ701
教科書名	書道Ⅱ
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A 表現】	<p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「古典を生かした表現」という学習活動が設定され、その中で「表現の工夫」として、古典の名筆を紹介しながら、それぞれの書の特徴や、仮名表現の工夫、構成の工夫といった視点での表現と用筆・運筆との関わりが理解できるよう工夫されている。 ・「自分の意図に応じた表現」という学習活動が設定され、作品構想を練る「創作カード」を利用することで漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解しながら、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付け、感興や意図に応じた個性的な表現ができるよう工夫されている。 ・身の回りの実用的な場面において書を活用する「書で発信しよう」という学習活動が設定され、漢字や仮名だけでなく、写真・絵といった様々な要素を調和させながら現代に生きる創造的な表現ができるよう工夫されている。 <p>(2) 漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篆書、隸書、草書、行書、楷書についてそれぞれの漢字の書を構成する様々な要素や、それぞれの古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解しながら、古典に基づく効果的な表現や変化、調和等による全体の構成の技能を身に付け、表現形式に応じた全体の構成が構想できるようにそれぞれの単元に「評価の要点」や「表現の特徴」が記載されている。 ・「名文を書こう」という学習活動が設定され、古典に基づく効果的な表現を身につけるため、法帖や字典を活用し、意図した表現に合う書体・書風を探す活動など、漢字の書を構成する様々な要素について理解しながら、感興や意図に応じた個性的な表現について構想できるよう工夫されている。 <p>(3) 仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「短冊の形式」という学習活動が設定されており、墨継ぎによる全体の構成の技能を身に付けながら、仮名の書を構成する様々な要素や古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解し、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「行書きの美」という学習活動が設定され、古典に基づく効果的な表現の技能を身に付け、表現形式に応じた全体の構成を考えて表現ができるよう創作手順が具体的に示されている。 ・「散らし書きの美」という学習活動が設定され、散らし書きによる全体の構成の技能を身に付けながら、感興や意図に応じた個性的な表現ができるよう工夫されている。
【B 鑑賞】	<p>(1) 生活や社会における書の美の効用と現代的意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な写真を掲載し、刻字という作品制作活動が、現代において表札に活用されるなどの価値があることが理解できるよう工夫されている。 ・様々な写真を掲載し、漢字仮名交じりという作品が現代において広告や看板といった身の回りの実用的な場面で活用されるなどの価値があることが理解できるよう工夫されている。 ・絵巻や手紙の写真を掲載し、漢字仮名交じりという作品が、近世以降現代に至るまで識字率の向上に寄与しているなどの価値を見出せることが理解できるよう工夫されている。 <p>(2) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書家ではない偉人たちの書や手紙を取り上げ、その作品が書き手の考え方や心情を表現するなどの価値があることを理解できるよう工夫されている。 ・漢字が中国から輸入され、我が国の仮名文字という文化に影響を与えたことが理解できるような構成になっている。 ・製紙技術が中国より伝わり、日本の風土に合った形で定着し、多種多様な装飾を施した料紙作成という文化に影響を与えたことが理解できるような構成になっている。 ・中国での書体の完成と遣隋使・遣唐使による日本への輸入が、我が国の能書家たちの書風に影響を与えたことが理解できるような構成になっている。

b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した作品の鑑賞を通じて、書き手の意図に基づいた表現の工夫を理解し、相互評価するなどの言語活動を推進できるよう、鑑賞カードを作成したり発表者に渡したりするという章が設けられている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字が中国から輸入され、我が国の仮名文字という文化に影響を与えたことが理解できるような構成になっている。 ・製紙技術が中国より伝わり、日本の風土にあった形で定着し、多種多様な装飾を施した料紙作成という文化に影響を与えたことがわかるような構成になっている。 ・中国での書体の完成と遣隋使・遣唐使による日本への輸入が、我が国の能書家たちの書風に影響を与えたことがわかるような構成になっている。
人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害による被害について「書を支える人々」で取り上げられ、文化財保護意識を高める工夫がされている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名文字の変遷という活動の中で「女手」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の表情の変化や運筆方法や優美な運筆と墨継ぎなどの動画や、百人一首の歌が一覧に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。

教科名	芸術
科目名	書道Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	教図
教科書番号	書Ⅱ702
教科書名	書Ⅱ
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A 表現】	<p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書Ⅱプライマリー」の中で「漢字仮名交じりの書の作品制作」という学習活動が設定され、名筆の書の表現と用筆・運筆との関わりが理解できるよう工夫されている。 ・「自分自身の表現を求めて」という学習活動が設定され、漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解しながら、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付け、感興や意図に応じた個性的な表現ができるよう工夫されている。 ・「さまざまな表現に学ぶ漢字と仮名の調和」という学習活動が設定され、創作する際に参考となる個性的な表現形式として、用筆・運筆・構成・墨継ぎなどの要素が幅広く提示され、現代に生きる創造的な表現ができるよう工夫されている。 <p>(2) 漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篆書、隸書、草書・行書、楷書についてそれぞれ漢字の書を構成する様々な要素について理解できるよう、それぞれの単元のはじめに「考えて 見る」という学習が設定されている。 ・「書Ⅱプライマリー」という項目で作品の拡大された図版が多く掲載されており、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解しながら古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けられるよう工夫されている。 ・「漢字の書の作品制作」という学習活動が設定され、知識や技能を生かしながら、感興や意図に応じた個性的な表現について構想できるよう工夫されている。 <p>(3) 仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書Ⅱプライマリー」の中で「仮名の書の作品制作」という学習活動が設定され、仮名の書を構成する様々な要素や古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解しながら、古典に基づく効果的な表現の技能を身に付け、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「古今和歌集の古筆」「自然を尊重する心を反映した散らし書き」という学習活動が設定され、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付け、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「曲直が表す個性的な線の美」という学習活動が設定され、古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解しながら、感興や意図に応じた個性的な表現について構想できるよう工夫されている。
【B 鑑賞】	<p>(1) 生活や社会における書の美の効用と現代的意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「芸術の生まれる場所」を通して、生徒が生涯にわたって芸術を愛し、心豊かな生活について思索できるような構成になっている。 ・「古典に学ぶとは」が掲載され、古典や名筆が現代人にも共感できるものであるということが理解できるよう工夫されている。 ・「私と書の明日」が掲載され、書が人生を歩むための道しるべになることが述べられており、書の意義や価値が未来にもつながるものであることを考えられるよう工夫されている。 <p>(2) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉筆の書として竹簡を取り上げ、その歴史と西域探検による発掘調査に言及し書の伝統と文化が分かるような構成となっている。 ・漢時代の刻石・石碑を取り上げ、その歴史と特徴や現存する石碑に言及し、書の伝統と文化が分かるような構成となっている。 ・「中国の模倣から和様の創造」をテーマに、正倉院宝物の文具や「古今和歌集」や「源氏物語」に言及し、書の伝統と文化が分かるような構成となっている。 ・「漢字仮名交じりの書」をテーマに、和歌や俳句を通して心情を表現する書や「鶴岡下絵和歌巻」を「四百年前のアニメーション」と表現するなど、現代にも続く書の伝統が分かるような構成になっている。

b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	
	<ul style="list-style-type: none"> 書や篆刻、刻字の制作の活動の中で、出来上がった作品を鑑賞し、感じたことを話し合うような学習活動が設けられている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「中国文人の世界」をテーマに、中国の書の伝統と文化が分かるような構成となっている。 「中国と日本の篆刻」をテーマに、日本における「印」の伝統と文化が分かるような構成となっている。
人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 凶版に東日本大震災の復興支援の横断幕や感染症拡大防止を呼びかけるポスターを取り上げ、書の表現効果を示す機会が設けられている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> 仮名を和様の書の「粹」とし、その中で女流文学が生まれたという記述が見られる。 「讃岐国司解藤原有年申文」の解説に「女性が使用する文字とされていた仮名が、和歌や女性の手紙ではなく、男性の手紙の中に、漢字に交じって書かれた例」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> 起筆や波磔、篆刻の制作から押印までの動画や作品が展示されている美術館等のホームページに、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮しデザインを工夫している。

教科名	芸術
科目名	書道Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	教出
教科書番号	書Ⅱ703
教科書名	書道Ⅱ
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A 表現】	<p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感じよう、考えよう」という学習活動が設定され、漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解しながら、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付け、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「感動や思いを表現しよう 自分の表現をみざして」という学習活動の中で「名筆に学ぶ表現の工夫」「作品の表現意図を考える」といった活動が設定され、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりや漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解できるよう工夫されている。 ・「創造的な表現を探る」「書を生活の中に生かしてみよう」という学習活動が設定され、写真やシャツへの印字といった現代に生きる創造的な表現ができるよう工夫されている。 <p>(2) 漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篆書、隸書、草書、行書、楷書についてそれぞれの漢字の書を構成する様々な要素や、古典の特徴と用筆・運筆との関わりが理解できるよう、図版を載せたり、写真や薄墨と筆跡で基本用筆を示す工夫がされている。 ・文字を彫り込む「篆刻・刻字の学習」によって、古典に基づく表現を理解しながら、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「漢字の書の制作」という学習活動が設定され、同じ漢字の様々な書体が一覧で並んでおり、古典に基づく効果的な表現、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けながら感興や意図に応じた個性的な表現について構想できるよう工夫されている。 <p>(3) 仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高野切第一種の臨書と短冊の書式」や「三色紙の散らし書き」などの学習活動が設定され、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身に付け、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・俳句や短歌を大字で書くという目的を設定し、古典に基づく技能を身に付け、仮名の書を構成する様々な要素について理解しながら、感興や意図に応じた個性的な表現について構想ができるよう工夫されている。
【B 鑑賞】	<p>(1) 生活や社会における書の美の効用と現代的意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字仮名交じりの書の表現と鑑賞」において、主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むことができる工夫がされている。 ・「書を生活の中に生かしてみよう」という学習活動が設定され、生活のさまざまな場面に書を取り入れることで文化の意味や価値を考え、個性豊かに表現することを理解できるよう工夫されている。 <p>(2) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「習字の実態を伝える遺品」をあげることで、書の歴史について理解を深める工夫がされている。 ・昭和期以降に活躍した日本の代表的な書家の作品をあげることで、書の表現性とその表現効果との関わりについて理解することができるよう工夫がされている。

b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「漢字の書の制作」の中で相互批評、意見交換をする学習活動が設けられている。 ・「漢字の書の鑑賞」の中で作品の書風の特色について話し合うという学習活動が設けられている。 ・二つの作品を比較し、言葉と表現の関係について話し合うなどの言語活動を推進できるように、「創造的な表現を探る」という章が設けられている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の青銅器と銘文の制作方法が示され、我が国の漢字文化に影響を与えたことが分かる構成になっている。 ・平安時代に誕生した料紙加工を試みることにより、我が国の伝統や仮名文化に影響を与えたことが分かる構成になっている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字五書体の書き方の動画に、二次元コードを読み込んでアクセスできるように工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮して、デザイン・配色を工夫している。 ・ユニバーサルデザインフォントを一部に使用している。

教科名	芸術
科目名	書道Ⅱ

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	光村
教科書番号	書Ⅱ704
教科書名	書Ⅱ
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【A 表現】	<p>(1) 漢字仮名交じりの書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「風景を書で表現する」という学習活動が設定され、漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解しながら、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「古典の書風を生かそう」という学習活動が設定され、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりを理解しながら、目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「イメージを書で表現する」という学習活動が設定され、目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けられるよう工夫されている。 ・「ポスターを作ろう」という学習活動が設定され、写真やイラストと漢字・仮名の調和等による全体の構成について考えながら現代に生きる創造的な表現ができるよう工夫されている。 <p>(2) 漢字の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篆書、隸書、草書、行書、楷書についてそれぞれの漢字の書を構成する様々な要素や、古典の特徴と用筆・運筆との関わりが理解できるよう、図版を大きく載せていたり、基本点画を大きく示したりするなど、工夫されている。 ・「近現代の書を味わおう」という学習活動が設定され、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「LET'S TRY」という項目で「座右の銘を書こう」という学習活動が設定され、知識や技能を生かしながら感興や意図に応じた個性的な表現ができるよう工夫されている。 <p>(3) 仮名の書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高野切第一種」の中で墨継ぎについて取り上げ、墨継ぎや連綿による全体の構成の技能を身に付け、表現形式に応じた全体の構成について構想できるよう工夫されている。 ・「百人一首を書こう」という学習活動が設定され、古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解しながら、感興や意図に応じた効果的な表現について構想できるよう工夫されている。
【B 鑑賞】	<p>(1) 生活や社会における書の美の効用と現代的意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「直筆で味わう名作」「ポスターを作ろう」という学習活動が設定され、近代以降に書かれた諸作品や、実際に書かれているポスターの文字、文士の直筆原稿などを見ることにより、書における個性の表現について理解できるように工夫されている。 ・「書の特色と歴史」という学習が設定され、漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書が現代にどのようにつながっているのかを理解できるように工夫されている。 <p>(2) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には中国で書聖と呼ばれる王羲之の書を集め、行書と草書の書体を比較している。 ・日本の三色紙を比較して書体・料紙の美を鑑賞できるように工夫されている。 ・「小臣餘儀尊」や「甲骨文」の写真に掲載するなどして、文字がどのように使われていたかを知ることができるように工夫されている。

b 芸術科書道の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導	
	・「ポスターを作ろう」の中で郷土をPRするキャッチコピーを考えるという学習活動が設けられている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・中国または日本に伝わる木簡・古筆・拓本・絵画などを図版で示し、両国間での伝来や書の発達の相違を示している。
人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・教科書の補足説明、資料文表示に、二次元コードを読み込んでアクセスできるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮している。